

大里小だより

臨時号

令和4年10月3日

全国学力・学習状況調査(4/19実施 6年生)の結果について

国語の結果(平均正答率)は全国平均より少し上で、算数と理科は全国平均とほぼ同じでした。津市の平均と比べると、3教科とも上回っていました。6年生の特徴として、「国語が好きだ」という児童の割合が全国平均と比較して高いことも反映していると思います。

国語の調査結果から分かったことは、「**経験(体験)して学びを深める**」ことの大切さです。

ある話し合いの場面が問題文になっているのですが、「相手に聞きたいことを質問し、相手の答えに対して『それはこういうことですね』と自分の理解を示し確認する。」こういう経験があれば、問題文の話し合いの展開を捉えることが容易になっただろうと考察しました。もちろん、これは実生活でも役立つ技能です。児童質問紙の調査からも、こうした経験不足が明らかになりました。計画的に丁寧に指導していくことを教員と確認しました。

算数の調査結果から分かったことは、理解を深めるために「**身近な生活場面に置き換えて考える**」こと、「**話したり書いたりして表現する**」ことの大切さです。

どうして身近な生活場面かということ、経験から結果がわかっているのも、自分の思考が正しいかどうかに気づけるからです。「果汁が40%含まれている飲料があります。これを同じ二つの容器に半分ずつになるように分けました。果汁の割合はどのなると思いますか。」この問題の正答率は、本校10.3%、全国21.4%でした。ほとんどの児童が、果汁の割合も半分になると答えていました。ジュースをコップに分けて飲んだ経験があればわかりますよね。「味が変わらない=割合が変わらない」と結びつけられれば、割合という考え方への理解が深まったことでしょう。

また、「相手に質問されたので説明したら、自分の理解がさらに深まった。」という経験は、みなさんにあると思いますが、子どもたちが算数の理解を深めるためにも大切です。だから、学校の授業では「話す・書く」「対話する」といった言語活動を大事にしています。授業参観の際に、気づいてもらっていたかもしれません。

もう一つ、今は「プログラミング的思考」を身につけることが児童には求められています。「こう指示したら、こういう結果になるので、次の指示はこうする。」というような感じです。

理科の調査結果から分かったことは、理科では「問題を見つける」ことがとても大切だということです。「結果」「気づいたこと」「事実」から次の問題を見つけるという筋道を丁寧に指導し、学習は発展していくことを学ばせたいと考えます。

また、「相手の仮説に則ってみると結果はどうなるか」という考え方ができること、そして実際の結果から仮説の間違いを正せることも大切です。これらは、やはり対話のある学習をしていないと身につきません。授業に生かしていきます。

児童質問紙調査から分かったことは、6年生は「学校を楽しみにしてくれている」こと、「学校の大人を信頼してくれている」ことです。いずれも全国平均よりずっと高い割合でした。教職員みんなで児童に応えていこうと、私達が元気をもらいました。

読書時間については、読書の機会を意図してたくさん設けている学校の取組が反映されていましたし、積極的に読書が好きだと回答した児童の割合が全国と比較して高かったのはうれしいことでした。しかし、どちらかといえば好きとは言えないと回答した児童の割合も高いので、この子たちを読書好きの方に引っ張り込みたいと思います。何かちょっとした工夫を教職員それぞれが考えることにしました。

さて、ご家庭で気をつけてほしいことがあります。「携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。」で、積極的に約束を守っていると回答した児童の割合は、全国平均の半分でした。今一度、各ご家庭での状況を確認してみてください。

ところで、昨年度の学校だより臨時号で「私達教員は、授業だけでなく学級会等の学級活動を大切に、社会に出ても堂々と意見を述べられる大里の子であるように、経験を積み、育てていきたいと確認しました。」と結びましたが、昨年と同じ「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を求めていますか。」の質問に肯定的回答をした児童は半分に満たない結果でした。申し訳ないことに改善がありませんでした。猛省しています。

学校は、昨年度の2学期から「子どもに任せる。そしてほめる。」ことを意識して教育活動を行っています。「子どもに任せる」ことは計画性が要ですので、教職員は準備に時間を使い、日々頑張っています。

この2学期から、2～6年生は、学校がデザインして発注した共通の「予定帳」を使っています。宿題をするのにかった時間や自主学習について記入する欄を作りました。保護者欄では、児童への励ましの声をかけていただきありがとうございます。この取組は、これまで課題であった「計画を立てて家庭学習をする」「学年ごとの家庭学習時間を意識する」ためです。今後ともご協力をお願いします。